

患者さんへ

「薬剤師による高齢者の多剤投与（ポリファーマシー）に対する 研究について」

神戸大学医学部附属病院薬剤部では、現在、入院患者さんのうち 65 歳以上の患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[\[問い合わせ窓口\]](#)までご連絡ください。

[研究概要および利用目的]

神戸大学医学部附属病院薬剤部では、65 歳以上の入院患者に対して適切な薬剤の処方されているかを「STOPP/START criteria」を用いて調査をします。

※「STOPP/START criteria」とは高齢者への使用に対して注意が必要な薬剤が投与されていないかを調べるための基準のことです。

入院患者さんの入院前の使用薬剤について、薬剤師が「STOPP/START criteria」を用いて確認いたします。この基準に該当する薬剤については、担当医と協議し、不適切あるいは不要な薬剤であった場合は他の薬剤に変更または中止します。

「STOPP/START criteria」を用いて不必要な薬剤を減らすことで、薬剤による副作用の回避、医療費削減、薬の飲み忘れ防止（アドヒアランス向上）などの効果が期待できます。

【研究期間】

この研究は、神戸大学大学院医学研究科長承認年月日（平成 27 年 6 月 10 日）から平成 28 年 3 月 31 日まで行う予定です。

[取り扱うデータ]

患者さんのカルテや患者からの聞き取り、お薬手帳、持参されたお薬から以下のデータを収集させていただきます。

現在使用している薬剤の内容、薬剤が処方された経緯、薬剤が処方された医療機関名、薬剤による副作用歴、既往歴、患者さんの薬剤への理解状況（用法用量、薬効についてなど）および血液検査データ（腎機能、肝機能など使用されている薬剤や既往歴に応じた検

査値)

[個人情報保護の方法]

収集させていただいた上記データは、第三者が直接患者さんを識別できないよう登録時に定めた登録番号を用いて行います。また得られた記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学医学部附属病院薬剤部の鍵のかかる保管庫に保管します。

[研究へのデータ提供による利益・不利益]

利益・・・本研究にデータをご提供いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、本研究結果が、今後の適切な薬剤使用の向上に貢献する可能性があります。

不利益・・・特にありません。

[研究終了後のデータの取り扱いについて]

研究終了後には、データは、患者さん個人を特定できない状態にして廃棄します。

[研究成果の公表について]

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

[研究へのデータ使用の取り止めについて]

いつでも可能です。データを本研究に用いたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。

神戸大学医学部附属病院薬剤部 薬剤師 小倉史愛
連絡先：078-382-5111